

学校評価結果（令和２年度）

長池昭和第二幼稚園

I 自己評価

1. 本園の教育目標

発達に応じた楽しいあそびの中で、知・体・徳のバランスのとれた教育を展開し心身ともに元気で明るい、のびのびした子どもを育てることを目指す。

- ・心身ともに元気に明るい子どもを育てる。
- ・自ら進んで新しい発見をし、喜びを持ち工夫する子どもを育てる。
- ・自分や他人を大切にし、みんなと仲良く協力できる子どもを育てる。
- ・規則正しい生活ができ、自ら安全な行動のできる子どもを育てる。

2. 本年度の重点的に取り組む目標、計画

子どもひとりひとりの成長に丁寧に向き合い保育に取り組む

コロナ禍の中安全な保育の在り方について検討し感染防止に取り組む
保育者の資質の向上に努める

3. 評価項目の達成及び取組状況

保育内容	4月から6月まで緊急事態宣言により休園措置を行い保育期間を短縮せざる得なかった。また感染予防の観点より中止となった行事もあったが、制限された中で子ども達の成長の為、何が出来るかを職員間で入念に話し合いながら保育を進め、各学年一定以上の保育を提供出来た。
安全面での取り組み	マスクの着用や消毒を徹底し、また空き教室を利用して食事の時間、園児間の距離を離すなど感染予防に努めた。また感染予防の観点から行事の見直しを行った。 日々設備や施設の点検を実施し、都度改善を行った。また交通安全指導や避難訓練を行った。
教育者としての資質の向上を図る	職員同士で日々保育内容について確認を行い、丁寧な保育の提供に努めた。 園内研修を行い保育の質の向上や保育者の資質の向上に努めた。

4. 学校自己評価の総合的な評価結果

コロナ禍という例年とは違う状況下の中で色々と感染防止の観点から制限されることも多々あったが、安全面と保育の質とのバランスを職員間で常に入念に話し合いながら1年間保育を進め、感染者を出すことなく過ごすことが出来た。また常に丁寧な保育の提供に努め、子ども達の健やかな成長を促すことが出来た。

度重なる緊急事態宣言の為外部への研修に積極的に参加することが出来なかったが園内での研修を通じ保育者の質の向上に努めることが出来た。

5. 今後の課題

新型コロナウイルス感染の終息がまだまだ見込めない中、更なる安全面での強化と保育の質の向上に努め、新たな保育の在り方を検討する必要がある。また中止した行事についても安全面の強化を図り実施できるよう工夫する必要がある。

多様化する地域の保育のニーズを掴み、必要性に応じた保育の提供に努めることが重要である。

II 学校関係者評価

幼稚園関係者の方々には主に行事を通して日頃の保育の成果を見て頂き適正に運営されているとともに、2020年度の自己評価についても適正であると認められた。
今後も子どもたちの健全な成長のためにより一層頑張ってもらいたいとの言葉を頂きました。